

破傷風

あなたはいつ、
破傷風の予防接種をしましたか？

ガーデニングや家庭菜園が好きなあなた

スポーツが好きなあなた

でも、土に親しむことには

大きな落とし穴があるかもしれません。



破傷風の感染予防

● 予防接種

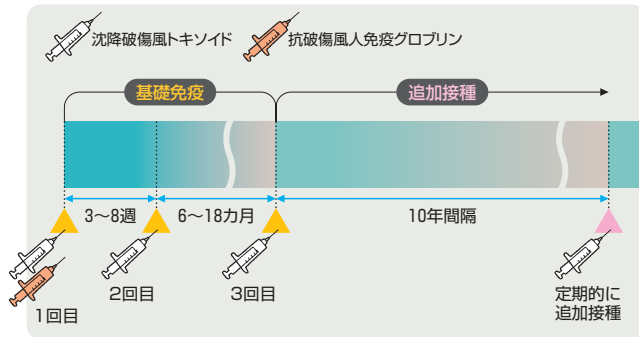
破傷風の感染を防ぐには、なによりも予防接種が大切であり、その予防には、基礎免疫をつけ、定期的に追加接種をすることが望ましいと考えられています。接種回数や接種期間など、医師の指示どおりに行わなければ免疫機構が確立しないことがあります。

基礎免疫：初回接種、その3～8週後に1回、さらに6～18カ月後に1回接種します（計3回）。

※幼児期に受ける3種混合ワクチン（百日咳・ジフテリア・破傷風）でも有効です。

追加接種：10年間隔で接種します。

■ 予防接種のスケジュール



抗破傷風人免疫グロブリンの対象となる方

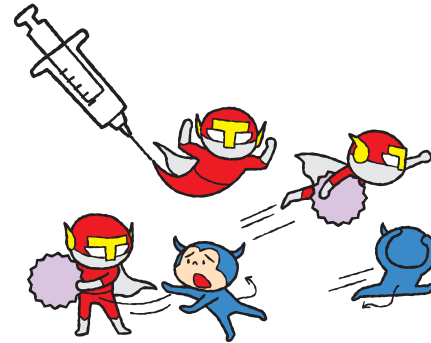
- 昭和42年以前に生まれた方
- 10年以上、追加接種を行っていない方
- 長期海外赴任、発展途上国への渡航を予定している方



上記にあたる方は保健所あるいは医療機関にご相談ください。

● 受傷後の処置

創傷部位の迅速・十分な洗浄、死滅した皮膚組織の切除、必要に応じた感染予防投与などの適切な処置をすることにより、感染率を低くすることができます。



■ 受傷後の破傷風感染予防投与

破傷風の 予防接種歴	破傷風を起こしやすい傷 (裏面中央ページ下表参照)		破傷風を起こしにくい傷 (左以外の清潔で小さな外傷)	
	沈降破傷風 トキソイド	TIG	沈降破傷風 トキソイド	TIG
不明	必要	必要	必要	不要
0～1回	必要	必要	必要	不要
2回	必要	必要	必要	不要
3回以上	不要*①	不要	不要*②	不要

TIG：抗破傷風人免疫グロブリン

*最後のトキソイド注射から①では5年以上、②では10年以上経過している場合は**必要**

● 医療機関名

予防接種のお問い合わせは当院までご連絡ください。

提供 田辺三菱製薬株式会社
株式会社ベネシス

企画・制作 株式会社ファーマインターナショナル

TBL-304A-
2008年11月作成

監修：防衛医科大学校救急部教授 阪本 敏久 先生

破傷風の正体

破傷風は土壌に広く生息する破傷風菌による感染症です。

動物の腸の中や糞にも存在します。破傷風菌は強力な神経毒素を産生し、中枢神経を侵し命に関わる症状を引き起こします。

特に夏あるいはジメジメした季節に多くみられます。



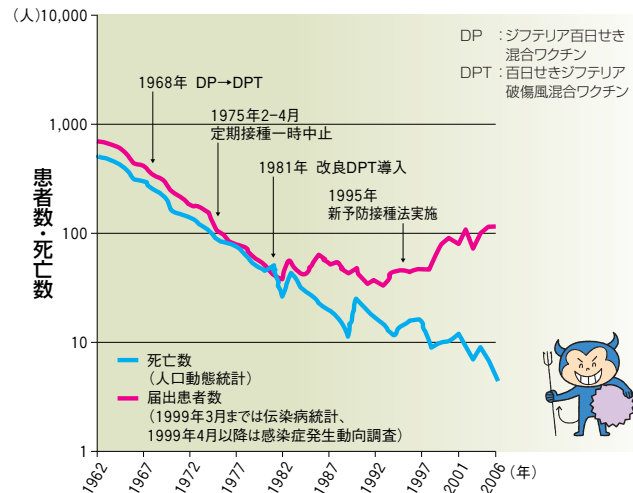
破傷風の怖さ

破傷風菌に感染すると、約80%の患者さんに全身的な症状(けいれん、呼吸困難、脳炎など)がみられ、非常に危険な状態になります。そのため、適切な集中治療が必要で、今も死亡率の高い病気です。



破傷風患者は増加傾向

予防接種の普及により患者数は減少しましたが、破傷風は撲滅しておらず、逆に近年増加する傾向にあります。2005年では患者数は115名、そのうち95%が30歳以上の成人でした。



破傷風菌は傷から侵入

さびた釘が刺さった、グラウンドで転んで皮膚を擦りむいた、傷があるのに砂いじりをした、動物にかまれた場合など、破傷風菌は傷口から侵入します。破傷風菌は小さな傷からでも侵入し、中には傷が見当たらないのに感染する場合があります。極めて少ない量の菌でも侵入して増殖すれば容易に発病します。



■破傷風を起こしやすい傷

- 受傷してから時間…6時間以上
- 傷の性状 ……複雑 (剥がれている、傷口が不整)
- 傷の深さ ……1cm以上
- 受傷のきっかけ ……事故などによる打撲、刺し傷、やけど、重症の凍傷など
- 感染の兆候 ……あり (局所の発赤、腫れ、疼痛)
- 壊死組織 ……あり
- 異物 ……あり (土壌、糞便、唾液など)
- 傷口の虚血 ……あり
- 傷口の神経障害 ……あり

破傷風の発病と治療

●発病

破傷風は症状があらわれると病状の悪化が速いので、傷を受けて3~21日後に次の症状がみられたら、すぐに医療機関を受診してください。

- 食べ物をよくこぼす、飲み込みにくい
- 舌がもつれる、口が開きにくい
- 体がだるい、全身の違和感
- 首・四肢のけいれん、こわばり



●治療

発症後数日以内に非常に危険な状態になるため、入院が必要となります。

破傷風治療に用いるお薬(抗破傷風人免疫グロブリン)は発病初期に効果が発揮されるため、早めの治療開始が求められます。

治療の経過が良好であっても、すべての症状が消えるまでには、数カ月を要します。

